

2023年9月20日  
全日本空輸株式会社  
成田国際空港株式会社

**NAA は、成田空港貨物ターミナル地区に  
ANA 最大の貨物上屋となる第 8 貨物ビルを新設  
ANA は、2024 年 10 月より新上屋へ集約した新たなオペレーションを始めます**

- NAA は、第 8 貨物ビルを成田空港 貨物ターミナル地区に新設いたします。同ビルは、環境に配慮した設計を行い、「ZEB Oriented」認証を取得しました。
- ANA は、2024 年 10 月より、ANA 最大の貨物上屋となる第 8 貨物ビルへ、現在 6 カ所に分散する貨物上屋を集約し、最新設備で効率性の高い新たなオペレーションを開始いたします。
- 温度管理施設の拡大により、医薬品や生鮮品など高まる需要へ対応してまいります。
- 第 8 貨物ビルに近接する場所に貨物ゲートを新設し、同ビルへのアクセス向上を図ります。



成田国際空港株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:田村 明比古、以下「NAA」)は、成田空港貨物施設の分散や狭隘化の対策として、第 8 貨物ビルを新設します。全日本空輸株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:井上慎一、以下「ANA」)は、ANA 最大規模の貨物上屋となる延べ面積:約 6.1 万㎡(うち、上屋面積:約 3.8 万㎡)の第 8 貨物ビルを NAA より借用し、ANA 最大規模の貨物上屋として、2024 年 10 月より供用を開始します。

ANA はこれまで、成田空港内 6 カ所の貨物上屋を活用し、旺盛な貨物輸送の需要に応えてまいりました。今後の更なる需要に対応するため、隣接する既存の第 7 貨物ビルと新設される第 8 貨物ビルの 2 カ所に ANA 貨物上屋を集約することで、ハンドリング体制の効率化や十分なスペース確保を図り、貨物取り扱いの更なる品質向上を目指します。

NAA と ANA は新たな第 8 貨物ビルの活用により、成田空港のアジアゲートウェイ機能、ならびに日本からの輸出・輸入の強化による貨物の国際競争力を高めてまいります。

## ■ 概要

施設名：第8貨物ビル

供用日：2024年10月(予定)

規模：鉄骨造2階建、延べ面積:約6.1万㎡(うち、上屋面積:約3.8万㎡)

取扱貨物：輸出貨物・輸入貨物・三国間貨物・国内貨物

## ■ オペレーションの効率化

### ・分散化された上屋の集約

上屋を集約することで、お客様との貨物の受け渡しを1つの上屋で完結することができます。

また、三国間貨物の発着作業を同一上屋で行うことが可能となり、接続時間を短縮し、アジア=北米間における三国間需要の利便性向上を図ります。

### ・自動搬送車の導入

上屋内では、自動搬送車(AGV※)の導入により、貨物の搬送・蔵置作業を自動化します。デジタル技術を活用した作業の効率化により、省人化を図ります。

※AGV=Automated Guide Vehicle



AGV イメージ

## ■ 上屋内設備の拡充

医薬品や生鮮品などの温度管理が必要な輸送需要に対応するため、温度管理施設を拡充します。ANAは2017年に国際品質認証であるCEIV Pharma※1、2023年にCEIV Fresh※2認証を取得しました。CEIV認証規格に準拠した設備の完備により、高品質なサービスをお客様にご提供します。加えて動物庫や貴重品庫を拡大し、幅広い輸送需要に対応します。

また、上屋内には一連の貨物ハンドリングを行う自動ULDラックを設置することで上屋空間を有効活用、お客様からお預かりする貨物の保管スペースを拡充するとともに、ULDの搬送・蔵置作業を自動化することにより、オペレーション品質を向上させるとともに、省人化を図ります。



※1 CEIV Pharma

IATAが策定した医薬品の航空輸送に関する品質認証プログラム

※2 CEIV Fresh

IATAが策定した生鮮食品の航空輸送に関する品質認証プログラム

## ■ 「ZEB Oriented」認証取得・太陽光発電システムの導入

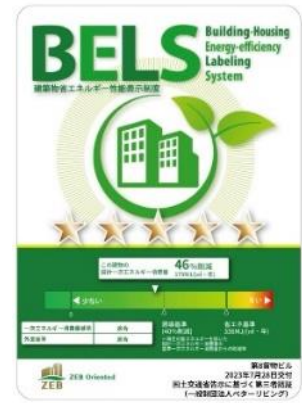
NAAは、2021年に「サステナブルNRT2050」を策定し、2050年度までに成田空港から排出されるCO<sub>2</sub>を50%削減(2015年度比)することを目標としております。脱炭素化推進の取り組みの1つとして、建物の新築時にはBELS※3に基づきZEB※4化を目指しており、第8貨物ビルは高効率の空調設備や断熱性能の高い建材の採用等により「ZEB Oriented」認証※4を2023年7月28日付で取得しました。加えて、太陽光発電システムの導入による「創エネ」を実施します。NAAは今後も持続的に発展できる



サステナブル・エアポートを目指します。

※3 BELS とは

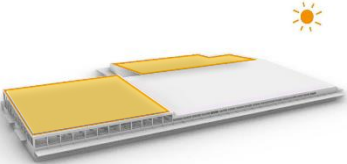
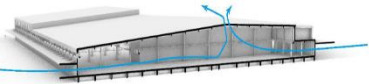
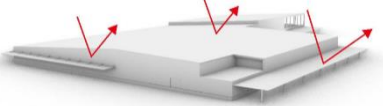
BELS (Building-Housing Energy-efficiency Labeling System) とは、建築物省エネルギー性能表示制度のことで、国土交通省が主導する建築物の省エネルギー性能に特化した第三者評価機関による認証制度であり、星の数で5段階評価が行われる。



※4 ZEB 及び ZEB Oriented とは

ZEB (Net Zero Energy Building) は、快適な室内空間を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。ZEB Oriented は、延べ面積が10,000 m<sup>2</sup>以上の建物において、基準一次エネルギー消費量から40%以上もしくは30%以上省エネルギーを実現した建物のこと。

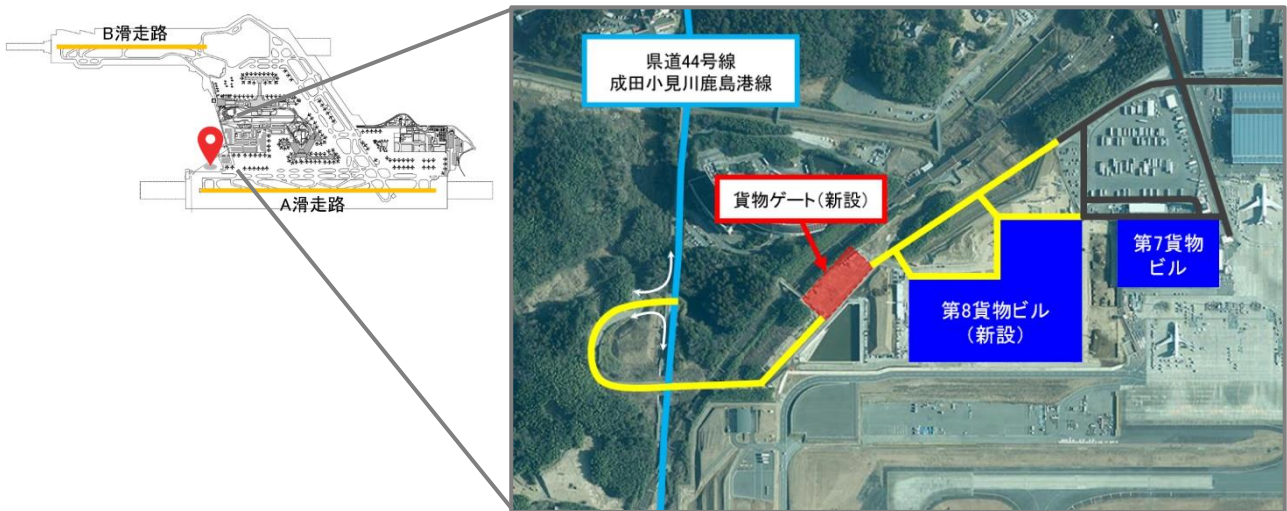
【省エネ対策に係るイメージ(一例)】

太陽光発電による再生可能エネルギーの創出	シーリングファン及び有圧扇による空気の循環	断熱性能の向上による熱負担の軽減
		

■ 貨物ゲートの新設

第8貨物ビル供用に合わせ、第8貨物ビルに近接する場所に貨物ターミナル地区にダイレクトにアクセスできる貨物ゲートを新設することから、第8貨物ビルへのアクセス向上が期待されます。

【貨物ゲート位置図(イメージ)】



以上

報道機関からのお問い合わせ先

全日本空輸株式会社広報部 TEL:03-6735-1111

成田国際空港株式会社 貨物営業部 TEL:0476-32-2045